学校番号	1011

令和８年度　学 国際教養

教科	学 国際教養	科目	(学)中国語基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	漢語基礎						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で、一般的な読む力を培うために、家庭生活・学校生活・自然景色・古代生活などの内容を関連つけて学習し現代文、古典を問わずに多彩な文章に慣れ焼しむことで、中国の語文に対する感覚を磨きましょう。

2　学習の到達目標

確実に順序をふんだ読み書きの力を生活に関連させて全体的に高めている。
言葉のセンスと思考力を発達させ、よい言語管慣を養成している。
中国の言語及び文字の正確な理解を深め、運用能力、さらに鑑賞力・感性を養おうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 中国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	母国の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	拼音（ピンイン）	中国語で音節を音素文字に分け、ラテン文字化して表記する発音表記である拼音（ピンイン）の体系を学ぶ。	a: 中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	司馬光 『聡明的華佗』 『浪花』	朗読しながら、文脈をまとめ事物の特徴を中心に順序よく文章を書く基礎を学ぶ	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
2	漢詩 「贈汪倫」 「題西林壁」 「七歩詩」	漢詩のリズム。抑揚の美しさを味わう	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	秋天 我要的是葫芦 北京 坐井観天	朗読しながら、文脈をまとめ事物の特徴を中心に順序よく文章を書く基礎を学ぶ	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
3	漢詩 「別董大」 「涼州詞」 「憶江南」 「望庐山瀑布」	漢詩の形式を見分け、表現の特徴を理解する。内容の展開を読み取り、作者の心情を理解する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度